

企業理念 地域の健康ネットワークを支え、流通のあすを創造します

発行：医薬営業本部 医業情報部 編集：株式会社 北海道医療情報サービス コンサルティング事業部

～ 院内暴力 医療機関実態調査・全日病 ～

全日本病院協会は、4月21日に院内暴力など院内リスク管理体制に関する医療機関実態調査の結果を公表しました。本調査は、安全で質の高い医療を提供するためには、職員が安全な環境で働くための院内整備を行うことが重要な課題の一つであり、病院における院内暴力などの実態や院内リスク管理体制について明らかにすることを目的に実施されました。

調査結果のポイントとして、回答を得た1106病院の半数以上に当たる52.1%(576病院)の病院で、過去1年間において職員に対する院内暴力・対応に苦慮した暴言などの事例(身体的暴力・精神的暴力)を経験しており、総発生件数は6882件となっています。そのうち警察へ届け出た割合が5.8%(397件)、弁護士へ相談した割合が2.1%(144件)と少なく、ほとんどが病院のみで対応していたと思われ、院内暴力の対応に伴う病院の負担が大きいことが伺えると報告しています。また、発生件数のうち、暴言などの「精神的暴力」(患者2652件・家族など784件)が「身体的暴力」(患者2253件・家族62件)よりも多いことが示されました。

以下には、上記の調査報告書の中から「病院における院内暴力・暴言など防止の管理体制について」の調査結果を掲載致しました。院内のリスク管理体制整備のための参考資料としてご覧下さい。

【院内暴力・暴言などに対する組織的なリスク管理体制(委員会など)の整備状況】

選択肢	回答数	割合
1.整備している	243	22.0%
2.整備していない	602	54.4%
3.現在整備を検討している	258	23.3%
4.無回答	3	0.3%

【院内暴力・暴言など対策のマニュアルやガイドラインの整備状況】

選択肢	回答数	割合
1.整備している	179	16.2%
2.整備していない	605	54.7%
3.現在整備を検討している	318	28.8%
4.無回答	4	0.4%

【院内暴力・暴言などを回避するための職員の研修もしくは訓練の実施状況】

選択肢	回答数	割合
1.実施している	141	12.7%
2.実施していない	701	63.4%
3.現在実施を検討している	258	23.3%
4.無回答	6	0.5%

【所轄の警察との連携について】

選択肢	回答数	割合
1.特別なコト外は行っていない	505	45.7%
2.一般的な防犯、安全について相談している	568	51.4%
3.定期的に打ち合わせを行っている	25	2.3%
4.無回答	8	0.7%

【医療機関として院内暴力・暴言などは許さないという確固たる姿勢を明確にし、院内掲示やパンフレットによる明示していますか】

選択肢	回答数	割合
1.している	136	12.3%
2.していない	769	69.5%
3.現在検討している	190	17.2%
4.無回答	11	1.0%

【職員の暴力・暴言など被害を院内で把握するための体制(報告制度など)を整備していますか】

選択肢	回答数	割合
1.整備している	430	38.9%
2.整備していない	453	41.0%
3.現在整備を検討している	202	18.3%
4.無回答	21	1.9%